



うけん



2010.12

DEC.

Vol.290

鹿児島県大島郡宇検村湯湾915番地

電話：0997(67)2211番

FAX：0997(67)2262番

発行所：宇検村役場

編集：総務企画課

URL <http://www.uken.net>

Mail soumuk@uken.net

CONTENTS

- P 2～3 全日本女子バレーが来村
- P 4～6 むらの話題
- P 7 第55回村民体育大会
- P 8～12 お知らせ
- P 13 大雨災害
- P 14 村民のうごき



宇検村総合体育館であった全日本女子バレーボールチームの紅白試合。
写真はエースアタッカー木村 沙織選手の強烈なスパイク（9月3日）。



小中学生との交流

9月2日に行われた交流会では、間近で見る憧れの選手に子供たちは少し緊張していました。会話をしながら指導を受け、貴重な経験がすることが出来ました。

奄美のファンに夢と感動を

超満員となった紅白戦では世界レベルのプレーや、試合後に選手が観客とタッチを交わしたほか、サイン色紙の抽選会もあり、訪れたファンを楽しませてくれました。3日間の滞在で多くの方に夢と感動を与えてくれました。

観客を魅了しました。

午後六時から二チームに分かれて紅白戦を開始。三セットが行われ、世界トップレベルの強烈なスパイクや粘り強いレシーブ、絶妙なコンビネーションなどで

大きな歓声が上がりました。

また、三日には村総合体育館にて「全日本女子バレーチーム紅白戦in宇検村」(財)日本バレーボール協会(主催)を開催。会場には約1100人以上の観客が詰めかけ、午後五時に始まった開会セレモニーで代表選手と田検小の子供たちが手を繋ぎ一緒に入場すると大きな歓声が上がりました。

手、エースアタッカーの木村沙織選手など主力選手十三人が訪れました。合宿初日の二日夕方には、バレー部へ所属する本村の小中学生五十人と交流を行い、複数のグループに分かれ、代表選手一人一人からパスやレシーブなど基本となるプレーを教わりました。

この合宿は、今年一月に本村で開催された「奄美大島開運酒造杯中学女子バレーボール大会」へバレー教室の講師として招かれた眞鍋監督と、同大会の主催者との縁で実現しました。

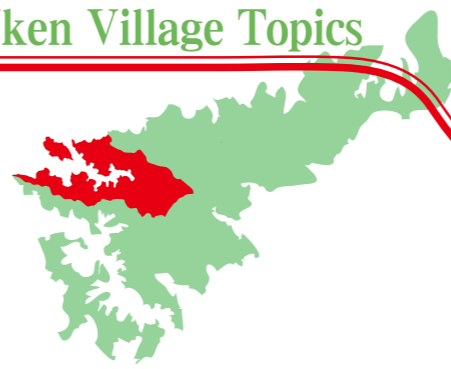
同チームの奄美大島への来島は初めてで、キャプテンの荒木絵里香選手をはじめ、セッターの竹下佳江選

**全日本女子バレー
が宇検村に
やって来たあ!**



ラジオのインタビュー
紅白戦の直前、眞鍋監督、荒木主将、木村選手の3人がFMうけんのインタビューを受けてくれました。合宿の目的や今後の目標、奄美の感想等を語りました。





わきやしま しゅん わだい 宇検村の旬な話題

*このコーナーでは、宇検村内の旬な出来事をご紹介します。みなさんの周りにあるめずらしいことなど、情報をお待ちしています。

宇検村役場 総務企画課 広報係 ☎ 0997-67-2211



関東宇検村会の総会・懇親会 ～芦検民謡保存会が稲すり踊りを披露～

9月23日、東京都品川区にて第86回関東宇検村会いかりなが みつひろ（碓永 光弘会長）の総会及び、懇親会が開催されました。

本村からは國馬村長や前田議会議長、重枝教育長など同会では初披露となった芦検稲すり踊り。が出席したほか、芦検民謡保存会のメンバー16名が村の無形文化財である「稲すり踊り」を披露しました。

國馬村長はあいさつで、タンカンを利用した特産品の開発や、防災無線の改修に伴うFMうけんの開局など、村政の現況について話をしました。

碓永会長は「多くの来賓の方々や、今年は地元から参加した芦検の稲すり踊りのメンバーが会に花を添えて下さり、大変有り難いです。」などと話しました。また、会では任期満了に伴う役員改選も行われ、坂井 正道会長（芦検出身）、伊澤 武男幹事長（阿室出身）など新たな役員が決まりました。



最後に六調で盛り上がる出席者。

奄美信組が貢献活動 宇検支店は公園清掃

全国の信用組合では、九月一日から七日までで「しんくみの日週間」として、各信用組合でさまざまな奉仕活動やイベントを実施しました。
奄美信用組合・宇検支店（里一郎支店長）でも来店された客へユリの球根のプレゼントや、清掃作業などを行いました。
清掃作業は九月四日にあり、職員とその家族が参加し、午前中に約三時間掛け、村総合運動公園周辺の草刈り作業を行ってくれました。



運動公園の周りを丁寧に清掃してくれた奄美信組 宇検支店の皆さん。

森岡が2連覇を達成 九州学生柔道81kg級

第五十四回九州学生柔道体重別選手権大会が九月四、五日の二日間にわたり、福岡県の福岡武道場で開催されました。
男子81kg級へ出場した、田検中出身の森岡卓三さん（福岡大学四年生）が二連覇を達成しました。
森岡さんは、小学一年生から宇検柔道スポーツ少年団（富山 政美監督）で柔道を始め、高校は名門・大成高校（愛知県）へ、平成十九年四月に福岡大学へ進学しました。
今大会で森岡さんは、決勝までの全試合を一本勝ちする圧倒的な強さで優勝しました。



九州学生柔道で優勝した森岡 卓三さん。

湯湾八月踊り歌詞集

湯湾集落八月踊り保存会が、九月十九日の集落豊年祭にあわせて「湯湾集落八月踊り歌詞集」を発行しました。
この歌詞集は、昭和四十七年に発行された「湯湾八月踊り歌全集」の在庫が減少したことをきっかけに、その歌全集を基に再編集されたものです。
新たな歌詞集では文字を大きく見やすくしたほか、方言の発音が出来るように、漢字にふりがなを付けるなどの工夫をしました。三十一曲をまとめた歌詞集は非売品で、集落内の全世帯や郷友会などへ配布されました。



今回発行された歌詞集と湯湾八月踊りのようす。

島唄を伝える授業 唄者の石原久子さん

奄美の島唄を子供たちへ伝えていくため、唄者の石原久子さん（湯湾）が、毎年、村内の学校にてボランティアで島唄の授業を実施しています。
九月二十八日に田検中で行われた授業では、はやし・太鼓担当の米田愛子さん（芦検）と共に、島唄の内容について説明をしながら九曲を披露し、生徒と「いきゅんにや加那節」などを唄いました。
授業後には生徒から「生で島唄が聴けて嬉しかったです。」などと書かれた感想文が手渡されました。



子供たちへ島唄の授業をする石原さん（右）と米田さん。

運動会優勝旗を贈呈

九月二十六日に行われた第六十三回久志校運動会にて、同校卒業生より新しい運動会の優勝旗が寄贈されました。

これは、今年六月に同校へ寄贈された応援幕を制作するために集めた募金の残額を活用して作られたものです。

募金は、校区内の集落民や同校出身の卒業生にも呼び掛け、二つの応援幕と運動会の優勝旗を寄贈することが出来ました。
応援幕と優勝旗には、子供たちの励みになってほしいという多くの方の思いが込められています。



卒業生代表から安藤校長へ手渡された運動会の優勝旗。

田検小創立百三十年 運動会で記念リレー

九月二十六日に田検小中学校の合同運動会があり、その中で、今年創立百三十年を迎える田検小学校の記念セレモニーが行われました。

記念セレモニーは、「未来へ向かって百三十年周年記念ラン」と題して、歴代のPTA会長代表八名と、中学生代表、小学生の各学年代表が聖火をリレーで繋ぎ、百三十年の節目を祝いました。

記念となる合同運動会では、地域の方も児童生徒と一緒に競技へ参加し、大いに盛り上がりました。



歴代のPTA会場代表と児童生徒がつないだ聖火リレー。

若竹が剣道が活躍 低学年団体が優勝

十月十七日に第二十五回名瀬ライオンズクラブ（LC）杯・第三十三回奄美支部杯剣道大会が、奄美市名瀬の大島工業高校体育館で行われました。
団体戦の奄美支部杯では、若竹剣道スポーツ少年団が低学年の部で二連覇を達成し、高学年の部で三位に入りました。

個人戦のLC杯でも、三年生以下男子で大野秀人くんが、同女子で津曲りん香さんが優勝したほか、各学年の部で四名の選手が三位入賞を果たしました。



優勝旗や賞状を手にする若竹剣道スポーツ少年団。



スピードある走りを見せた一般女子100m走



中学男子100m走

メディシンリレー

1,500m走

輪投げ

小学女子100m走

三人四脚

秋の一大スポーツイベントで村民の交流を深める

子供からお年寄りまで多くの村民が参加して競技も応援も皆で楽しんだ!

▶ 聖火ランナーは、平田集落の宮原新次郎さん。宮原さんは7月に開催された群体の剣道競技個人戦で優勝に輝いた。



◀ 力強い選手宣誓を見せてくれた佐念集落の内田健治さん。



第55回宇検村民体育大会

各部門の上位3チーム

順位	集落名	得点
総合	1位 芦 検	165.0
	2位 宇検久志	122.0
	3位 湯 湾	118.0
男子	1位 芦 検	99.5
	2位 宇検久志	70.5
	3位 湯 湾	65.5
女子	1位 芦 検	65.5
	2位 湯 湾	52.5
	3位 宇検久志	51.5
レク	1位 芦 検	87.0
	2位 宇検久志	73.0
	3位 阿 室	67.0
ロード	1位 田 検	25.0
	2位 芦 検	9.0
	3位 部 連	8.0



元気な応援団(芦検)



グラウンドゴルフ



▲ 毎年恒例となっている各学校の部活動紹介。今年は、各競技のユニホームと道具を使った部活対抗リレーで盛り上がった。

▲ 見事な秋晴れで、絶好の運動会日よりとなりました。写真は、マスゲームで踊りを披露してくれた地域女性団体の皆さん。

五十五回目となる村民体育大会が、十月十日に村陸上競技場で開催されました。当日は快晴に恵まれ、各競技で集落の代表選手が熱戦を繰り広げました。保育園児のかけっこや小中学生の短距離走では子供たちの元気な姿を見ることが出来ました。一般男女が出場する短距離走や千五百、五千の長距離走、俵運搬やタイヤ回しなどの競技では、スピードが来ました。成績は、芦検が三部門で一位を獲得し、総合六連覇を達成しました。



県高校柔道90kg級を制した保池くん。

保池くんは平成二十一年に鹿工業柔道部へ入部。厳しい練習を積む中で、うれしい高校柔道県大会での初優勝となりました。優勝勝ちで勝利しました。同階級へは県内の各校より二十名が出場しました。決勝戦で明桜館の竹下選手と対戦し、延長戦までもつれる接戦の末、優勢勝ちで勝利しました。保池くんは平成二十一年に鹿工業柔道部へ入部。厳しい練習を積む中で、うれしい高校柔道県大会での初優勝となりました。

保池が新人戦で優勝 県高校柔道90kg級



後列9番が小林くん、前列4番が津田くん。

中学男子バレー県選抜へ2選手 ~12月開催の全国大会へ出場~

12月25～28日に大阪で開催される第24回全国都道府県対抗中学バレーボール大会の鹿児島県選抜に、宇検村から小林創弥くん(田検中3年生)と津田大地くん(久志中2年生)が選ばれました。県選抜チームには県内各地から男女12人が選ばれ、12月の大会まで毎週末に鹿児島本土へ集まり合同練習を行っています。2選手は田検・久志合同チームと一緒にプレーをするチームメイトで、小林くんはセッター、津田くんはレフトアタッカーのポジションで選抜メンバーのレギュラー入りを決めました。小林くんは「セッターという重要なポジションなので、大きな大会の雰囲気にのまれないように、いつもどおりのプレーを心掛けたい。」と話してくれました。また、津田くんも「スパイカーとして上がったボールは、全て決める気持ちで頑張ります。」と力強く語ってくれました。



鹿児島県の選抜に選ばれた小林くん(右)と津田くん

阿室校が130周年記念式典 ~同日に学習発表会も開催し賑わう~



阿室校創立130周年を祝い万歳三唱。

村立阿室小中学校は今年、創立130周年を迎えました。11月7日には、同校の学習発表会に合わせ、節目の年を祝う記念式典が開かれました。式典は地域住民や保護者の方々をはじめ、同校の卒業生、村関係者などが多数出席するなか盛大に行われました。國馬村長、重枝教育長よりお祝いの言葉を頂いたほか、卒業生を代表して今井梢さん(旧姓・山下)が母校への想いを語り、阿室在住の保枝久信さん(旧姓・山下)がお祝いの島唄「長朝花」を披露されました。また、在校生を代表して中学3年生の中田秀大朗くんが「阿室校での生活が一生の財産となります。これからも母校がずっと存在し続けることを願います。」などと言葉を述べました。130年間で同校の卒業生は4,187名。近年は、児童生徒数の減少に伴い存続が危ぶまれる状況にありましたが、今年度より実施した親子山村留学制度により新たに小学生3名の転入生が加わり、現在小学生6名、中学生3名となり地域にも活気が出てきました。